

## 防犯ボックスについて

(質問) 犯罪発生状況の現状はどうか。また、国府地区としては、地域防犯の要として交番又は駐在所の新設を願っている。治安維持の取り組みについて、千葉県において簡易型交番「防犯ボックス」の運用を開始したが、本市にも導入できないのか。

(答弁) 平成24年度の刑法犯認知件数は3,100件で県内ワーストと不名誉な結果である。国府地区

における交番設置については、自治会からのたびたびの要望をいただき県に要望している。三重県に対し、県と市として地域住民の連携、協力体制の一つのあり方として本市の状況にあった防犯対策を強化していただくよう要請していく。

その他の質問 ・米の生産調整について

## 観光振興について

(質問) 市役所本庁舎を観光名所にするためにプロジェクションマッピングやライトアップ、15階展望フロアから夜景が見られるように夜間開放するなど、行政側の考えを問う。

(答弁) プロジェクションマッピングやライトアップについては内容によってはシティセールスにもつながるため、外部団体等から要請があった場合には周

辺への影響などを総合的に判断しながら検討する。15階展望フロアの夜間開放については、年間を通してではなく、スポット的に開放するなど試行的に実施するように検討したい。

その他の質問  
・広報活動について



庁舎15階からの夜景

## 小規模校の在り方について

(質問) 小規模校の将来についてのビジョン。また、小中一貫教育と地域学校園について、小規模校で今後検討してはどうか。

(答弁) 現在小学校9校、中学校1校の計10校が小規模校となっており、10年後には、小学校11校、中学校3校の計14校となる見込みである。平成27年度から小規模特認校に指定し、通学区域の

拡大を図る合川小学校の成果をもとに今後研究を進めていく。小中一貫教育については、小学校から中学校へのスムーズな接続などの効果も考えられるが、教員の配置、学校施設の距離等の課題も多く、今後も研究を深めていく。地域学校園については、小中一貫教育を行う学校を核に地域や諸団体が協力し、児童の実態に即した教育活動を展開し質の高い教育を実施するもので、今後も研究していく。

その他の質問 ・白子港に海の玄関

## 耕作放棄地の利用について

(質問) 自然エネルギーである太陽光発電設備の転用は可能であるのか、また、他市町において転用の事例もあると聞くが本市の考えは。

(答弁) 基本的に耕作放棄地の転用は認めていない、他市町において事例があるというのは現在も耕作されている農地であって、耕作放棄地ではない。また、国の農地法によれば、現在耕作されてい

る農地への太陽光発電設備の転用は、容易に撤去出来る構造でないといけな。また、3年ごとに転用許可の審査を受ける必要があり、毎年その地域の平均的な農業収益から2割以上の減収とならない、などの厳しい制限がある。

その他の質問 ・公道について